

大阪市立大学交響楽団 創立 90 周年記念

第 65 回記念定期演奏会

B. スメタナ

連作交響詩

「我が祖国」 全曲

A. ドヴォルザーク

スラブ舞曲第 1 集より 第 1 曲*

客演指揮 井村 誠貴

学生指揮 浮田 泰成*

2019 年 12 月 25 日 (水)

ザ・シンフォニーホール

JR 大阪環状線 福島駅から北へ徒歩 7 分

開場 17:30 開演 18:30

当日券販売は 17:15 から

入場料 1000 円 (全席自由席)

未就学児のご入場はご遠慮ください

アルフォンス・ミュシャ 《「スラブ叙事詩」展》 1928 年

関西から

文化力

客演指揮 井村 誠貴 *Imura Masaki*



1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。オペラレパートリーも50演目を越え、主要作品の他にもオペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。2001年イタリアに留学し、As. Li. Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行、副指揮者として高い評価を得た。2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位になるなどオペラ指揮者としての地位を確立。管弦楽では京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に行う一方、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団等を客演。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、数々のロングラン公演を成功させている。また指揮活動だけにとどまらず、オペラ演出、企画構成、さらには作曲、編曲、作詞などマルチな才能を発揮。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン振るマラソン！」と題して、一日でベートーヴェンの全交響曲を一人で指揮し大きな話題となった。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催し、5136万円を超える義援金を届けた。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間100公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は多くのファンを魅了し続けている。湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFI指揮者。春日井市第九演奏会音楽監督、関西音楽人のちから『集』代表。

大阪市立大学交響楽団 *Osaka city university symphony orchestra*



1929年に発足した学生オーケストラで、この度90周年を迎えます。プロの指揮者をお招きして年に2回、6月と12月に演奏会を開催しています。

大阪市立大学の学生を中心に、約90名の音楽好きが集まり活動しています。今回の記念演奏会では伝統を背負い、これまでの市大オケの集大成となるように、熱い演奏を皆様にお届けします。

前売り券取り扱い

チケットぴあ
音声認識予約 0570-02-9999
Pコード 163-694

お問い合わせ

HP <http://ocusym.sub.jp>

E-Mail ocusym@live.jp

Twitter @ocusym

Facebook @ocusym

アクセスマップ



- JR 大阪環状線 福島駅から北へ徒歩約7分
- JR 東西線 新福島駅1番出口から北へ徒歩約10分
- 阪神電車 福島駅2番出口から北へ徒歩約10分
- JR 大阪駅から西へ徒歩約15分